

三国港市場周辺の再整備

現況の課題



周辺資源へのつながりが
わかりにくい



まちの顔として無機質な
車両空間が広がる



旧ホームの歴史的遺構の
効果的な見せ方が必要



既存駅舎と水辺側の関係
性が希薄



駅関連施設の更なる有効
活用が望まれる



魅力的な水際空間の設え
が望まれる



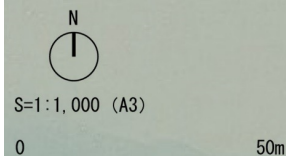
路線バスの停留所の位置
がわかりにくい



建物が水辺への視線を
阻害



老朽化した建築物が水辺
の景観を阻害



三国港市場周辺の再整備

再整備の方向性

交通結節機能を集約する

- 三国港と東尋坊を結ぶ新たな水上交通機能を導入し、「海ステーション」を整備します。
- 水辺側へ新たなホームと駅舎を整備するとともに、水上交通、路線バス、観光バスの乗降空間を乗り換え利便性に配慮して配置することで、交通結節性を強化します。
- 東尋坊及び三国両方面からのアクセスがしやすい観光バスの駐車場を整備します。

来訪者を迎え入れる「ひろば」をつくる

- 新しい駅舎の前面には、来訪者を迎え入れる歩行者広場「ゲートプラザ」を整備します。
- ゲートプラザと相對して、海ステーションの前面にも歩行者広場を設け、一体感のある広がりを出します。

三国港市場周辺の再整備

| 再整備の方向性

水辺に向かって開く

- 未使用や老朽化した建物を撤去するなど、駅から九頭竜川への視界の抜けを確保します。
- シンボルテラスやまち側と川を結ぶ縦路を整備する等、人々が水辺と出会う象徴的な場所を創出します。
- 留置線の跡地は広場・緑地として再整備し、伸びやかな駅前の風景を生み出します。

周辺とのつながりを生む

- 三国港（旧阪井港）突堤、サンセットビーチへとつながるプロムナードを整備し、水辺の散策ルートを構築します。
- 海ステーションやひろばの効果的な配置により、三国港市場へのつながりを創出します。

三国港市場周辺の再整備

| 再整備の方向性

既存資源の磨き上げを行う

- 現三国港駅舎を丁寧に保存するとともに、駅関連施設をカフェ等へと改修し、資源の有効活用を図ります。
- 水辺側の旧プラットフォームの石積みは保存し、新たに整備されたプラットフォームと共に歴史の重層性を感じることのできる空間を創出します。
- 留置線のレールはランドスケープデザインとして活用し、かつての姿を継承します。

三国港市場周辺の再整備

